

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

## 事業名 介護現場業務改善・効率化等支援事業費 (地域医療介護総合確保基金(基金))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111(内3464)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,103 千円 (前年度予算額： 11,816 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,816	0	0	0	0	0	11,816	0	0
要求額	13,103	0	0	0	0	0	13,103	0	0
決定額	13,103	0	0	0	0	0	13,103	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

介護現場においては、介護人材不足が深刻化する中、限られた人材で介護需要に対応していくため、テクノロジーの活用等によるサービスの向上や負担軽減といった生産性向上の推進は喫緊の課題であり、介護ロボットやICTといった生産性向上に効果的なテクノロジー等の普及をより強力に進めていく必要がある。

### (2) 事業内容

介護現場における生産性向上の取組みを推進するため、「岐阜県介護生産性向上総合相談センター」設置・運営し、介護サービス事業所等に対してワンストップ型の支援を行うとともに、「岐阜県介護現場革新会議」を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国2/3 県1/3 (地域医療介護総合確保基金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価会議構成員謝金
旅費	268	職員旅費、プロポーザル評価会議構成員旅費
需用費	61	消耗品費:60、会議費:1
役務費	60	通信運搬
委託料	12,675	岐阜県介護生産性向上総合相談センター・岐阜県介護現場革新会議の運営
使用料及び賃貸料	7	会場借上
合計	13,103	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第9期岐阜県高齢者安心計画」の9つの施策の方向性の1つ「介護現場の生産性向上」として位置づけ

(2) 国・他県の状況

地域医療介護総合確保基金においてメニュー化されている。

令和6年度末に31都道府県が介護生産性向上総合相談センターを設置。令和7年度末までに45都道府県まで拡大予定。

(3) 後年度の財政負担

地域医療介護総合確保基金の継続に応じて、事業を継続する。

(4) 事業主体及びその妥当性

実施主体：県

県全体の介護人材確保対策を図るため、県が主体となって事業を行う。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

限られた人材で一人でも多くの利用者に質の高いケアを届けられるよう介護現場における生産性を向上させる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①介護ロボット 導入補助台数	3,630	4,413	3,865	4,550	4,550	97.0%

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年度	令和6年度からの事業であり、本事業としての取組内容及び成果についてはない。 介護ロボットについては、県内介護保険事業所に対し導入経費に対する補助を行った。 (実績) 109事業所、220,113千円
	指標① 目標：2,580 実績：3,630 達成率：140.7%
令和 6 年度	介護ロボットについては、県内介護保険事業所に対し導入経費に対する補助を行った。 (実績) 110事業所、238,646千円
	指標① 目標：3,180 実績：4,413 達成率：138.8%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	介護現場における生産性向上は喫緊の課題であり、引き続き取組みの支援が必要となる。
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3 : 期待以上の成果あり                  2 : 期待どおりの成果あり                  1 : 期待どおりの成果が得られていない                  0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	相談対応や専門家派遣等介護サービス事業所が実施する生産性向上の取組みの支援を通して、介護現場における生産性向上を推進できている。
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	業務の一部を外部委託することで効率性を図っている。

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  介護現場における生産性向上に資する取組みの有効性について、介護サービス事業所の理解度をいかに高めるか。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  地域医療介護総合確保基金の継続に応じて、介護現場におけるニーズを踏まえながら継続していく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	